3 ディベートの展開大要

(1) ディベートのテーマ

「中学生は、コンビニ弁当より手作り弁当にするべきである」

(2) ねらい

- ・本テーマを討論することにより、自分の健康のために、食事を整える必要性を認識 させる。
- ・手作り弁当は、栄養価が分かりにくいことから、コンビニ弁当と比較させることで、 栄養に関する基礎的・基本的な知識をもたせる。
- ・手作り弁当は、作る時間が必要である。短時間に手際よく調理する重要性を感じと らせ、調理における技術の向上と意欲の喚起を図る。

(3) 展開の大要

★ ルール

- ・本ディベートは、「賛成側」(弁当は手作りがよい)と「反対側」(弁当は手作りに こだわらず、コンビニ弁当でもよい)に分かれて討論する。
- ・「賛成」「反対」は、くじによって決める。したがって、どちらになっても討論できるように、調べ学習を行わせておく。
- ・試合は、学級を4グループに分け、(賛成2・反対2)前半戦・後半戦の2回実施 する。試合に参加しない班は、審判員になる。
- ※時間の余裕があれば、班員を減らし、対戦回数を増やすとよい。

★ 試合の流れ(簡易形式)

① 賛成側立論(4分)… 賛成側が、手作りのよい点を述べる。

② 反対側立論(4分)… 反対側が、手作りでなくてもよい点を述べる。

- 作戦タイム(2分)---

- ③ 反対側質問(2分)… 反対側が、相手の立論を聞いて質問する。
- ④ 賛成側質問(2分)… 賛成側が、相手の立論を聞いて質問する。

- 作戦タイム(3分)---

- ⑤ 反対側反駁(3分)… 反対側が、賛成側の意見に反論する。
- ⑥ 賛成側反駁(3分)… 賛成側が,反対側の意見に反論する。

★ プラン(4つの条件)

・両者の勝敗に偏りが生じないようなプランを提示する。

	プラン(4つの条件)	提示意図
1	コンビニ弁当はすぐ食べられる物とする。	←カップラーメンを除かせる。
2	弁当は,自分で作る。	←自分で作ることを意識させる。
3	弁当は,1時間以内で作る。	←作る時間や手間について意識させる。
4	手作り弁当には、加工食品を加えてもよい。	←食品添加物の公平性と基礎を学ばせる。